

都道府県名：沖縄県	市町村名：大宜味村
<p>1. 活動名 NPO 法人大宜味つばきの会の活動</p>	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>大宜味村を含む“やんばる”と呼ばれる一帯は、かつては集落よりの山腹や裾野が山畑として開墾され、昭和40年代本土復帰の頃まで、中南部地域へ薪炭や用材を共有していた里山地域である。大宜味村の中央部山地も、もとは里山であったが、現在は人の手を離れて、自然の森に戻った地域である。</p> <p>この地域には、村が林業構造改善事業と山村振興事業で整備した散策路が巡っており、ここでツバキの群生地をみつけた地元の植物愛好家が、これを保護・普及し、里山を再生させようと、平成13年に活動を開始した。</p> <p>活動の主な目的は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ツバキを主とした森の有用植物の栽培・植栽及び活用 ②里山の魅力を普及し、農村交流を進めて地域活性化 	
<p>3. 実施主体 NPO 法人大宜味つばきの会</p>	
<p>4. 取組の概要（平成20～21年度）</p> <p>1) 苗づくりと植栽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H20. 7～9月 植栽地除草 ・H21. 10月 大宜味村役場前記念植樹 ・H21. 11月 大保ダム植樹祭苗木提供及び植栽指導（北部ダム事務所・大宜味村・沖縄コココーラ共催）、村道沿い植栽地管理 ・育苗施設・見本園の管理、苗木づくり、種採取、開花調査 <p>2) 調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宜味村持続可能な観光地づくり計画策定業務（H20年度 大宜味村）の中で、散策道資源調査、アンケート調査 <p>3) 普及・交流活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宜味村持続可能な観光地づくり観光資源保全のための取組推進事業・パンフレット等作成業務（H21年度 大宜味村） ・H20年度 沖縄ふるさと百選認定 ・H21年度 田園自然再生活動コンクール、朝日新聞賞受賞 	
<p>5. 支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大保ダム建設共同企業体助成（平成16年度）にてミストハウス設置 ・かいぎん環境貢献基金（平成19年度）にて育苗施設増設 	

6. 取組等についての成果や課題

- 1) 地元字区と連携した森の管理運営体制作り
- 2) ツバキや椿油や木炭などの森の産物生産を軌道に乗せ、村づくりに加わる。
- 3) 散策道を活用したガイドツアーやガイドの育成
- 4) 全国椿サミット沖縄大会の推進



育苗施設、幼苗栽培のミストハウス
・3ヶ月～半年育苗、年間1000鉢以上(何)
・苗づくり、都市部会員の応援による苗づくり

※育成2年～3年、全体で4000鉢程度を育成可、その内、年間1000鉢程度を提供開始。

平成19年1月及び2月に沖縄椿協会などの協力を得て、ツバキ類見本園育成地整備。
・年に2回ほど草刈。



・大保ダム植樹祭(平成21年11月1日) ※ダムの供用前イベント
・北部ダム事務所、大宜味村、沖縄コカコーラー共催



平成20年12月3日ネクマチジ開花調査